

令和6年度 学校経営計画

廿日市市立阿品台中学校長 川本憲明

1 校訓 夢と意欲

2 学校経営目標

生徒・教職員が「阿中家族」となり，保護者から信頼され，地域に愛される学校

3 学校教育目標 「学び」と「貢献」 ～足元を見据えながら～

4 めざす生徒像（自立性と自己有用感の向上）

夢に向かって，意欲的に学び続け，学び得た資質・能力を活用し，他者に貢献できる生徒

※「自己を認識する力」，「自分の人生を選択する力」，「表現する力」，社会性（挨拶，目配り，気配り）

<目配り：課題に気づくこと。 気配り：気づいた課題を解決するために行動すること。>

5 めざす教職員像 「研鑽」と「協働」

～生徒のために研鑽を続け，協働して取組を行い，生徒・保護者・地域から信頼される教職員～

6 めざす学校像 「阿中家族」 ～史上最高の阿中をめざして～

7 学校経営ビジョン

（1）ユニバーサルデザイン（焦点化・視覚化・共有化）の視点を用いた授業改善による教科学力の向上

○「学びの意義」を考えさせ，学び続ける姿勢を身に付けさせる。

○「本質的な問い」で身に付けさせたい資質・能力等を明確にし，ユニバーサルデザインの視点を基盤としながら，課題発見・解決のプロセスを通して，考えたことや学んだことを表現する場を設定し，「主体的で対話的な深い学び」に繋げる。

○ICT機器を活用し，生徒の主体性を向上させ，深い学びに導くための授業の創造。

○心を耕し，共感的な姿勢や公正さなど伸長する道徳教育の充実。

○SNS等を活用する意義を伝えていくとともに，SNS等での誤った事案で，加害者にも被害者にもならないための，情報モラルを含めた情報活用能力を高めていく取組を行う。

(2) 特別支援教育の視点に立ち、自立性等を高める生徒指導による生活学力の向上

- 生徒の特性や背景等の理解を進め、個に応じた積極的生徒指導を行い、自立性を高める。
- 学級活動、縦割りの取組や部活動等を通して、社会性を育成する。
- 粘り強く「指導」と「見守り」を継続し、自律性を高める。
- 生徒・教職員に、いじめを許さない風土を醸成するとともに、重大ないじめ事案には対しては、関係機関と積極的に連携を行う。

(3) 将来像を明確にさせ、自己有用感を高めるキャリア教育による生活学力の向上

- 生徒の自己認識力や将来選択能力を高める取組を通して「**学びの意義**」の理解を深める。
- 他者に貢献する取組を通して、自己有用感や表現力を高めるとともに社会性を身に付けさせる。
- 小中連携事業、PTA活動や地域との連携を通して、郷土や母校への誇りを高める。

(4) 学校教育活動の基盤となる「安全・安心・健康」

- 生徒・教職員が安全で安心して学校生活を行えるように、環境整備や施設管理等を行う。
- 感染症や熱中症等を防止する取組を行い、生徒・教職員の健康維持・促進を図る。

(5) 全教職員が同じベクトルで歩む「阿中家族」

- 生徒・教職員が、ともに教育活動に主体的に取り組み、誰もが過ごしやすい**ウェルビーイング**な生活環境を醸成する。
- 教職員が情報を共有しながら協働的に取り組む風通しの良い教職員集団を醸成する。
- 管理職や同僚等への報告・連絡・相談を徹底し、学校体制としての対応を行う。
- 教職員が支え合いながら、ワーク・ライフ・バランスを図ることで、「働き方改革」を進める。

令和6年度廿日市市立阿品台中学校学校経営計画

校訓

夢と意欲

学校経営目標

生徒・教職員が「阿中家族」となり、
保護者から信頼され、地域に愛される学校

学校教育目標 「学び」と「貢献」～足元を見据えながら～

めざす生徒像

夢に向かって、意欲的に学び続け、学び得た資質・能力を活用し、
他者に貢献できる生徒の育成

めざす教職員像 「研鑽」と「協働」

～生徒のために研鑽を続け、協働して取組を行い、
生徒・保護者・地域から信頼される教職員～

めざす学校像 「阿中家族」～史上最高の阿中めざして～

自立性・自己有用感

※「自己を認識する力」「自分人生を選択する力」「表現する力」・社会性

学
力
向
上

阿中家族

生
徒
指
導

阿中家族

キ
ャ
リ
ア
教
育

安全・安心・健康